

旭川子ども劇場 2025年6月特別例会

大笑い!おやこ狂言会

わら

～伝統芸能に親しもう～

in 旭川



京都 茂山千五郎家

【演目】

- ・狂言解説と
ワークショップ
- ・口真似
- ・蝸牛

【出演者】

- ・茂山 宗彦
- ・茂山 逸平
- ・島田 洋海
- ・鈴木 実

伝統芸能は難しいという印象を持たれるかもしれませんが

狂言は簡単にいうと”室町時代の吉本新喜劇”ともいえるそうです。

名もない一市民を主役にして、日常生活の笑いをすくい取った会話劇、それが600年という長い年月で練られ、洗練され、いまなお現代に息づく芸能となっています。

旭川ではなかなか体験できない狂言の世界にぜひ触れてみてください。

子どもたちも素直な感性で、いろんなものを感じてもらえると思います。

6月29日(日)

開演 11:00 (開場 10:30) 一般券 5000円

開演 14:30 (開場 14:00)

(上演時間 90分)

会場：旭川市公会堂

お問い合わせ

旭川子ども劇場

旭川市神楽5条6丁目1-19

☎62-8566

asakodogeki@gmail.com

InstagramのDMでも受け付けています

インスタグラムも
随時更新中



ASA_KODOGEKI

会員募集中

子ども劇場に入会して、日本の伝統芸能に触れられる、この作品を観ませんか？

入会金 300円/人 月会費 1100円/人

6月のみ会費 2000円/人

3歳以上は入会金と会費が必要です。

会費は毎月かかります。

後援:旭川市教育委員会 協賛:道民共済



旭川子ども劇場は、子ども達が心豊かに、自分の意志で行動していける健全な成長を願って発足した、会員制の会です。

そのために何が必要かをみんなで話し合い、年齢にあった活動を作り、大人も子どもも異年齢の中で共に育ちあう場として、歩み続けています。2026年は創立55周年の節目の年です。

忙しい毎日の中で、親子でゆったりと向き合う大切な時間を流してしまいがちです。

子ども劇場では『子どものどんなふうになってほしい?』の想いをもとに、非日常的な生の舞台の鑑賞や、自主活動での遊びの体験の中で、親子や仲間との関係が広がり、安心感につながっています。

世の中はめまぐるしく変わり、子どもの周りの環境も心配事や不安が多くなってきたように感じられます。子どもたちが安心して育つには、見守るたくさんの大人の目が必要です。孤独な子育てをする親がいなくなるようにと、活動をつづけています。

今回、子どもの感性・想像力を育むために、優れた日本の伝統芸能である「狂言」を特別例会として取り組みます。

室町時代から続く古典芸能で、難しい、かしこまった印象があるかもしれませんが、日常のユ一モアあふれる話が中心です。

独特の言い回しや立ち姿、動きに笑いがこみ上げてきます。

最近心の底から笑ってますか?ぜひ、この時間を親子で共有してもらいたいです。

狂言を鑑賞した人の声

伝統芸能「狂言」……ってTVの中の世界で普段の生活とはかけ離れているし、難しい印象でしたが、動きも擬音表現も、とにかく面白い!お話の内容を理解できないような小さな子ども達も、公演を見終わった後、絶対マネするんだろうなって想像しちゃいました。

親も子ども毎日忙しい中、一緒に大わらい!できる時間を過ごして欲しいです。

解説を聞けば内容がわかるから大丈夫!

あとは、はるか昔から伝わってきた「型」の中で練り上げられた動きや言葉、リズムを楽しむだけ!昔の人たちのおかしなやりとりで想像力、ふくらませてみませんか?

令和の世でも存定して面白いお芝居をみんなで見に行こう!そして笑おう!

狂言は、難しい物ではありません!

面白いです。コントを見る感じかな声を出して笑っても、手をたたいて笑ってもOK!

気楽に親子で観てほしいです。



あらすじ

蝸牛

主人から長寿の薬になる蝸牛(カタツムリ)を捕まえてこいと命じられた太郎冠者。

探しに竹藪に入り、寝ている山伏と出会って…

口真似

銘酒をもらった主人が、酒のあいてに面白い人を呼んで来いと太郎冠者に言いつけます。

そこで、太郎冠者が呼んできた人は有名な酒乱の人物で…